

蔵出し企画展 「大隅半島」

県立博物館

蔵出し企画展「大隅半島」

令和6年9月28日（土）から11月24日（日）まで、博物館本館1階にて蔵出し企画展「大隅半島」を開催しましたので御紹介します。

企画展の概要

蔵出し企画展は、常設展示していない、収蔵資料に触れる貴重な機会です。今回は、深い照葉樹林や急峻な山岳部、豊かな恵みをもたらす台地など、多様な景観と生態系をもつ大隅半島の魅力を、博物館の資料約1,100点を展示して解説しました。



【企画展会場】

展示から・大隅石

日本で発見されている鉱物は、130種あまりあります。そのうち「大隅石（Osumilite）」は7番目に認定された鉱物で、1956年に大隅半島の垂水市早崎（咲花平）で発見されました。館内で常設展示されている標本は、県の天然記念物に指定されています。企画展では大隅石の解説のほか、鹿屋市郷原町の輝緑岩、南大隅町佐多伊座敷の花こう岩などを展示しました。



【大隅石】

展示から・コアジサシ

コアジサシは、4月初旬に志布志湾岸の砂浜に飛来し、5～8月にかけて繁殖活動を行います。近年、営巣場所が減り、世界中で急速に個体数が減少しています。環境省レッドリストでは、絶滅危惧種Ⅱ類、鹿児島県でも絶滅危惧種Ⅰ類として分類されています。そのような状況から、志布志湾に面する横瀬海岸（大崎町）では、有志によるコアジサシの繁殖保護活動が進行中です。企画展では、コアジサシの鳴き声を聞いたりコアジサシ誘因用のデコイ（模型）を見たりするコーナーも設置しました。

また、10月26日（土）、日本野鳥の会かごしま県支部の前田和浩氏をお招きし、企画展関連イベント講演「大隅半島の野鳥とコアジサシの保護について」を開催しました。



【コアジサシ】

おわりに

今後も博物館は、多様性豊かな生態系を育む鹿児島県の自然の魅力を企画展で発信していく予定です。次回は「湿地」をテーマに、下記のとおり開催します。多くの皆様の御来場をお待ちしています。

企画展「いっぺこっぺ湿地」

会場：鹿児島県立博物館本館1階企画展示室

期間：令和6年12月21日（土）～

令和7年2月23日（日）

時間：午前9時から午後5時まで

（入館は午後4時30分まで）

※入館無料